

平成28年度

県立広島大学に関する主な報道記事

平成28年度 県立広島大学に関する主な報道記事

○ 教育活動・学修成果に関する記事

No.	題 名	掲載紙等	掲載日
1	経営専門職大学院開く 県立広島大MBA取得へ30人入学 MBA取得最初の一步 県大 経営大学院開設式 社会人にMBA講義 県立広島大13日まで募集	中国新聞 読売新聞 中国新聞	4月6日 4月6日 3月9日
2	高校36校県立広島大タッグ 南区で合同発表会 課題解決の授業 工夫学ぶ	中国新聞	1月28日
3	特産生かしおいしい竹原 県立広島大生 園児にジャガイモ給食	〃	12月13日
4	サンフレディ獲得作戦 カープ女子に続け 県立広島大生クラブに提案「SNSやグッズ充実を」	〃	11月28日
5	地域おこしへ果実飲料 庄原の県立広島大生が開発 ブドウの酵母使い発泡性	〃	2月7日
6	大学生ビジネスコンテスト 津山滞在楽しんで 岡山 多様な観光プラン提案	山陽新聞	10月30日

○ 研究成果に関する記事

No.	題 名	掲載紙等	掲載日
7	レモン摂取骨密度上昇 県立広島大など研究 血圧下げる効果も 県産レモン魅力いっぱい 県立広島大 効能やレシピ紹介	読売新聞 中国新聞	5月10日 9月4日
8	現代かなづかいで「宮島参詣膝栗毛」 広電宮島ガーデン50周年記念し出版 宮島の饅頭にスマホをかざすと『東海道中膝栗毛』の続編が登場！「大学」×「菓子メーカー」×「お土産物企業」×「IT企業」のARを活用した新たな観光振興(広電宮島ガーデン)	産経新聞 @PRESS	5月1日 3月27日
9	親指の腫れ 和らぐ靴下 外反母趾を想定 東広島企業の来月発売	中国新聞	5月26日
10	鹿肉ソーセージ特産品へ 県立広島大、安芸高田市と連携 被害原因の鳥獣活用	〃	1月23日

○ 地域貢献・地域連携に関する記事

No.	題 名	掲載紙等	掲載日
11	外国人客用に案内所 広島駅など学生ボランティアも 広島外相会合 あすから本番歓迎準備着々	毎日新聞 中国新聞	4月10日 4月9日
12	学生の食育活動に全国表彰 県立広島大生 料理教室やレシピ開発	中国新聞	7月13日
13	大学生発信ネット放送『庄原メイプルラジオ』 空き家活用 週1回1時間	〃	8月9日
14	障害者スポーツ普及へ部活 県立広島大三原 体験企画や大会支援	〃	12月20日

○ 大学運営に関する記事

No.	題 名	掲載紙等	掲載日
15	ヒロカ職員証に導入 県立広島大 出退勤管理を効率化	中国新聞	6月28日
16	「ヒロカ」学生証で買い物を 広島銀・県立広島大・庄原市が連携	〃	12月10日
17	17年1月からネット出願導入 県立広島大	〃	7月12日
18	「海外で学生がテロ遭遇」 県立広島大が危機管理訓練	〃	9月3日

経営専門職大学院開く

県立広島大 MBA取得へ30人入学

県立広島大は5日、経営学修士(MBA)を取得できる中国地方で初の経営専門職大学院の開設式を広島市中区のホテルで開いた。本年度は第1期生として社会人30人が入学した。南区の広島キャンパスで平日の夜間と土曜に授業を受け、2〜4年間でMBA取得を目指す。

開設式には入学生や教員約60人が出席。同大の中村健一学長が「自分の未来を切り開き、経済界のトップランナーとなることを期待する」とあいさつした。マツダの子会社に勤める入学生の日谷宣利さん(40)は「日中市は『ものづくり』を中心に医療や農業など幅広い分野を学び、会社が手掛

MBA取得最初の一步

県大経営大学院開設式

中国地方で初となる経営専門職大学院の県立広島大学院経営管理研究科の開設式が5日、広島市中区で開かれ、新入生や関係者ら約60人が出席した。

同研究科を修了すると、MBA(経営学修士・専門職)が取得できる。3・6倍の難関を突破した20〜50歳代の社会人30人が入学した。

中国地方で初となる経営専門職大学院の県立広島大学院経営管理研究科の開設式が5日、広島市中区で開かれ、新入生や関係者ら約60人が出席した。

同研究科を修了すると、MBA(経営学修士・専門職)が取得できる。3・6倍の難関を突破した20〜50歳代の社会人30人が入学した。

開設式で中村健一学長が「広島、世界のトップニ

4/6中国

社会人にMBA講義

県立広島大13日まで募集

県立広島大(広島市南区)は新年度から、経営専門職大学院経営学修士(MBA)を旨し大学院で開いている講義を、社会人たちに受講してもらう制度を設ける。専門知識を学び、キャリアアップに生かしてもらおう狙い。13日まで受講生を募っている。

時間帯は平日午後6時半〜9時半、土曜午前9時〜午後7時半。

前9時〜午後7時半。レポート提出などの課題を終えれば、1科目ごとに2単位を認定する。

授業料は1科目2万9600円。出願手続き料9800円、入学料2万8200円(県外の場合は3万9480円)。大卒程度の学力がある人たちが対象で定員は若干名。同大ホームページから出願書類を印刷し、郵送か持参する。13日必着。

同大は中国地方初の経営専門職大学院を2016年度に設置。MBA業務推進室は「MBA取得を目指す学生と机を並べて学び、それぞれの活躍の場を生かしてほしい」としている。

(新山京子)



中村学長(左端)のあいさつを聞く経営専門職大学院の入学生

ける機械設備分野に生かしたい」と意気込んでいた。同大学院経営管理研究科長の横山禎徳特任教授によ

る記念講義もあった。経営専門職大学院の開設は、地域で活躍するビジネスリーダーや世界で通用する人材の育成が目的。ものづくり経営▽医療・介護▽農業▽起業や地域課題の解決を学ぶベンチャー・ソーシャルの4分野のカリキュラムを用意している。

公立大による経営専門職大学院の開設は、北九州市立大(北九州市)、兵庫県立大(神戸市)に続き、全国で3例目。昨年11月とことし2月の2回の募集で計109人が受験した。

(根石大輔)

2017年(平成29年)1月28日(土曜日)

中 國 桑 斤 局

高 校36校 タッグ 大 南 区 で 合 同 発 表 会 県立広島

課題解決の授業工夫学ぶ



分科会のブースで説明を受ける参加者

東区の広島城北高の尾原達哉教諭(26)は「他校の事例も参考に、生徒が自然と考えながら学ぶことができる授業をしたい」と話していた。

2015年度から「課題発見・解決型」の教育を支援している県教委の主催。高校、大学が連携する「高大接続」をにらみ、初めて同大と合同で開いた。(井上貴博)

高校生たちが主体的に課題を見つけて解決する力を養う授業や取り組みの発表会が27日、広島市南区の県立広島大であった。県内36高校、同大の11学科など約50機関が事例を紹介し、教職員たち約300人がそれぞれの工夫を学んだ。

全体会では、同大の馬本勉学長補佐が、学生が得意分野を生かしながら、お互いに学習を支援する「学修支援アドバイザー」を紹介。リポートの書き方などを他者に教えることを通じ、「学生の主体性が向上した」と効果を説明した。

県教委高校教育指

課は、県立高2校のアクティブラーニングを紹介。史実を記したイラストを時代順に並べ替え、理由を説明する歴史の授業などについて説明した。また、分科会では、各校や各学科が、パネルを置いたブースを設け、それぞれの取り組みを説明した。広島市

特産生かしおいしい竹原

12/13 中国

園児の感想を確かめる鈴木さん（左端）



園児にジャガイモ給食

県立広島大生

竹原市特産のジャガイモを使った給食の献立を県立広島大（広島市南区）の学生が考案した。市内の保育所と認定こども園計10施設の園児が味わった。

献立は「和風トマじゃが」。肉じゃがをトマトソースで味付けした。同大4年で管理栄養士を目指す鈴木菜摘さん(22)、中磯知美さん(21)、沖村百合子さん(21)が考案した。

3人は7日、同市福田町の大乗こども園で園児と一緒に味わった。完食する姿を確認した鈴木さんは「一生懸命考案したことが報われる。地元の食材に親しむきっかけにしたい」と力を込めた。

市と同大、カゴメ中四国支店（広島市南区）が6月から連携し、計2品の献立を作った。年数回のペースで保育所などの給食に生かし、小学校にも取り入れることを検討している。

(山田祐)

健康科学科

カープ女子に続け

サンフレディ

獲得作戦

「サンフレディ」で観客増へ。
県立広島大(広島市南区)経営学
科の3年生女子6人が、J1サン
フレッチェ広島に女性を中心とし

県立広島大生
クラブに提案

た若者の集客アップ作戦を提案し
た。社会現象になったカープ女子
に代表される「女子力」に注目。
SNS(ソーシャル・ネットワー
ク・サービス)の活用やスイーツ
の充実など、女子大生の視点から
まとめた。(矢野匡洋)

「SNSやグッズ充実を」

和田孝准教授が開くゼミ
の一環で、サンフレの協力
も得て4月から活動を始め
た。昨年までの5年間、サ
ンフレの主催試合では19
21歳の世代の観客割合が、
リーグ平均の5・5%より
低い2・4%だったことに
注目した。

約400人にアンケート
を実施し、県立広島大では
学生の8割以上が入学後に
観戦経験なしと回答。1カ
月以上前からアルバイトの
予定を組むため試合情報の
発信が遅く、スタジアムと
広島駅を結ぶバスがないな
どの理由が挙げられた。

「相撲女子」が増えた大
相撲などの集客策も分析。
16票の提案書にまとめた。
「カープ女子」に倣い、サ
ンフレの女性ファンを「サ
ンフレディ」と命名。女性

向けにSNSでの選手のオ
フショット配信やグッズの
充実、写真を撮りやすいよ
う片手で持てるスイーツの
開発などが盛り込まれてい
る。

原田安加李さん(21)は
「若い人を引き付けるには
興味を持たれるような情報
を頻繁に出すことが大切」
と強調する。クラブの灘井
康夫地域事業部長は「飲食
やチケット販売方法などを
来季から検討したい」と話
している。

サンフレグッズを手
に、和田准教授(左端)
と集客策を話し合う県
立広島大の学生

地域おこしへ果実飲料

ワ中国

庄原の県立広島大生が開発



庄原や三次市の特産果実で造った発泡性飲料を手にする内田さん④たち。左がピオーネ酵母、右がゴルビー酵母入り

庄原市の県立広島大庄原キャンパスの学生が、ピオーネなど2種類のブドウの酵母を使った発泡性飲料を造った。庄原、三次市など県内の特産果実を使い、シユース感覚で飲めるようにアルコール度数を1%未満に抑えている。「地域おこしに生かしてもらえらるなら、レシピも提供していきたい」と言う。

(伊東雅之)

ブドウの酵母使い発泡性

生命環境学部4年の微生物を専門とする阪内田菜月さん(22)を中核とする3人が、応用指導を受けながら取り組

んだ。

内田さんが、学内の農園で育ったピオーネとゴルビーブドウから採った酵母の高い発酵力に注目。高野リンゴ(庄原市)、三次ピオーネ(三次市)、瀬戸田レモン(尾道市)をミックスしたジュース

に両酵母を加えた飲み物造りのアイデアが浮かんだ。この着想が地域貢献を目的とする同大の研究支援事業に選ばれたのを受け、3人は昨春から開発を進めた。試行錯誤の末、赤紫色をしたアルコール度数0・6%のピオーネと0・3%のゴルビーの2

種類の発泡性飲料が完成した。

1月末、庄原市内の行政や観光分野などの関係者約40人を招いて試飲会を開催。アンケートの結果、「また飲みたい」との回答がともに7割を超え、発泡性の高いピオーネは男性、甘みのあるゴルビーは女性に好まれる傾向などもつかめた。

阪口准教授は「癖のある酵母の臭い消しや、風味付けなど試作を繰り返した跡がうかがえる。アルコール飲料にも応用でき大きな可能性を感じる」と話す。内田さんは「多くの方に評価してもらえてうれしい。熟成期間を含めても1週間ほど造れる。地元産品として愛される飲み物に育ってくれば」と期待している。

阪口研究室 ☎0824(74)1849。

大学生ビジネスコンテスト

津山滞在楽しんで

岡山 多様な観光プラン提案

10/30 山陽

津山市に1週間以上を組み合わせた医療ツーリズム事業の策定をペットビジネスとの融和を目指す津山市から協力を合意したプランを提案する「ビジネスプランコンテスト」が29日、岡山大披露された。

「ビジネスプランコンテスト」が29日、岡山大披露された。津山市幹部、財界人日、岡山市中区西川原主催。岡山、就美、香ら4人が審査。1位にの就美大であり、空き家を宿泊・体験施設に改修して文化体験するといった多彩なアイデアが発表された。

各チームは8月に現地を視察。学生たちは津山中央病院の「がん陽子線治療センター」を核に、観光や食

地を視察。学生たちは津山中央病院の「がん陽子線治療センター」を核に、観光や食



ビジネスプランを提案する県立広島大のチーム

競うコンテストを2012年から企画して各プランを施策の立案に生かす。

(伊丹友香)

5/10 読ん

レモン摂取 骨密度上昇

県立広島大(本部・広島市)などの研究グループは、レモンを食べると体内でカルシウムの吸収率が上がり、血圧を下げる効果があるとする研究結果を発表した。研究成果は、足腰の衰えて歩行などが困難になる「ロコモティブシンドローム」の原因となる骨粗しょう症などの予防に役立てていくという。13~15日に兵庫県で開かれる日本栄養・食糧学会で発表する。

同大学と県立安芸津病院

(東広島市)、ポッカサッポロフード&ビバレッジ(本社・名古屋市)が共同研究を行った。レモンの酸味の主成分・クエン酸に、カルシウムの吸収を促進する作用があることに着目。中高年の女性44人に、カルシウムを配合したレモン果汁飲料200ml・杯を半年間、毎日飲み続けてもらった。

その結果、骨から血液中に溶け出るカルシウムの量が平均で約14%抑えられ、骨密度

県立広島大など研究 血圧下げる効果も

は3か月で平均1.32%上がり、半年後もほぼそのまま保たれた。平均134.6だった最高血圧も、1か月で125.6まで下がり、半年後まで効果は継続したという。

研究にあたった同大学の飯田忠行准教授は「カルシウムの吸収を促進し、血圧を下げるメカニズムをさらに検証していきたい」と話していた。

研究は、レモンの需要拡大を目指し、生産量日本一の広島県と、レモン製品を販売するポッカサッポロが2013年2月に締結した連携協定に基づき、14年11月から行われた。

2016年(平成28年)9月4日(日曜日)

中

広島

乗斥



県産レモン 魅力いっぱい

県立広島大 効能やレシピ紹介

県特産品のレモンの魅力を紹介する催し 県立広島大であった。

が3日、広島市南区の研究者が効能を説明するシンポジウムや世界各国の品種の展示があり、親子連れたち約500人が楽しんだ。

シンポでは同大理学療法学科の飯田忠行准教授(43)が、レモン果汁とカルシウムを混ぜた飲料を半年ほど飲むと、骨密度を維持する効果が表れたとの研究結果を発表。企業の研究者は動物や人間への実験から、疲労の軽減効果があると説明した。調理学校の講師や

国産と欧米産のレモンを展示した会場

同大の学生はレモン果汁を使った炊飯や煮物など独自レシピを披露した。

会場には国内や欧米で栽培されている12品種のレモンを展示。果汁を混ぜたラッシー作りのコーナーも設けた。南区の幼稚園児佐藤結菜ちゃん(5)は「木にトゲがあるなんて知らなかった」。母親の優美さん(32)は「酸味が嫌いな娘にレモン果汁を取らせる料理を知ることができた」と喜んでた。

同大などでつくる実行委員会が初めて企画した。(堀晋也)

広電宮島ガーデン 50周年記念し出版

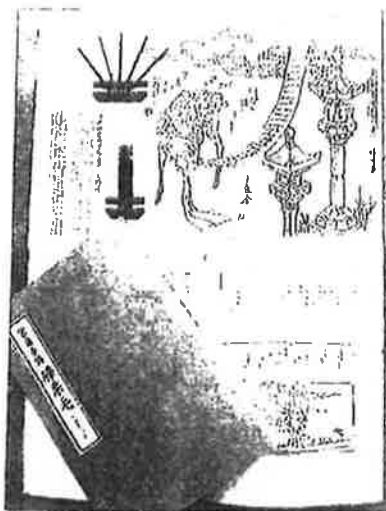
廿日市市の「宮島口もみじ本陣」などを経営する広電宮島ガーデンが昨年の創業50周年を記念し、清瀬本「東海道中膝栗毛」で有名な江戸時代後期の戯作者、十返舎一九の「宮島参詣膝栗毛」を現代かなづかいなどに改め、当時の挿絵も入れて出版した。地元でも忘れられた「宮島参詣」を知ってもらうためで、江戸時代に宮島土産として親しまれた「色楊枝」のセットもつくり、ともに販売し始めた。

当時の土産物「色楊枝」も作製

「宮島参詣」は「東海道中」の初人近い人が伊勢神宮への「石段参版」が出た1802年の9年後に出り「を」するなど、旅が大衆化して版された。十返舎一九は今の香川、藤栗毛シリーズが旅のガイドブックとしてベストセラーになっていたことなどが記されている。

「宮島参詣膝栗毛」は、広電宮島ガーデンから依頼を受けた県立広島大学宮島学センターが執筆。原本の体裁や表記をわかりやすくし、注釈も施してある。販売用に500部作製し、「宮島口もみじ本陣」と山陽自動車道下り線・宮島サービスエリアで販売。価格は1080円(税込み)。また、江戸時代に宮島土産として人気だった「色楊枝」のセットも500部作製、540円(同)で販売している。宮島では白い紙は神様が使うものとされ、宮島居住者は色のついた紙を使っていたことから、「色楊枝」が土産物になっただけという。

付録として県立文書館が平成8年に開いた「収蔵文書展 江戸の旅人たち」の資料を掲載。江戸時代後期の1830年には500万



「宮島参詣膝栗毛」と「色楊枝のセット」

宮島の饅頭にスマホをかざすと『東海道中膝栗毛』の続編が登場！「大学」×「菓子メーカー」×「お土産物企業」×「IT企業」のARを活用した新たな観光振興 [広電宮島ガーデン]

2017/03/27 @ P R E S S 1326文字

県立広島大学(広島県広島市、学長：中村 健一)、株式会社広電宮島ガーデン(広島県廿日市市、代表取締役社長：森河 謙二)、株式会社やまだ屋(広島県廿日市市、代表取締役：中村 靖富満)、株式会社アドバンスドバーチャルテクノロジーズ(広島県広島市、代表取締役社長：堀 勇樹)は、AR技術(拡張現実)を活用し、地元広島の名産「宮島膝栗毛」の箱にスマートフォンをかざすと、オリジナル動画を閲覧できるサービスを2017年3月27日(月)に開始しました。

「宮島膝栗毛」オンラインショップ

<http://www.momijihonjin-ec.com/shopdetail/000000000628/>

オリジナル動画では、同銘菓の開発のきっかけとなった江戸時代の作家、十返舎一九のベストセラー『東海道中膝栗毛』の続編『続膝栗毛 宮島参詣』や宮島の景観などを、県立広島大学宮島学センターの大知助教の解説付きでご覧いただけます。

県立広島大学宮島学センターの研究成果を背景に、株式会社広電宮島ガーデンが企画し、株式会社やまだ屋が製造した銘菓「宮島膝栗毛」は、歴史を紐解き新商品を生み出した産学連携の取り組みとして、宮島の観光振興ならびに地域交流人口の増加を目指しています。

親指の腫れ和らぐ靴下5/6 中国



靴下製造のコーポレーションパ
ールスター（東広島市）は、外反
母趾が原因で親指の付け根が腫れ
る腫膜瘤の症状を和らげる靴下Ⅱ
写真Ⅱを開発した。国内初の製品
として6月から本格販売する。
「おやゆび想い」と名付けた。
外反母趾は足の親指が小指側に曲
がるため、親指の付け根が腫れて
痛む場合がある。靴下は腫れた部

外反母趾を想定 東広島の企業 来月発売

分と土踏ますの部分に小さく丸い
布を縫い込んだ。腫れと靴が擦れ
るのを防ぎ、土踏ますを刺激して
親指の先を広げるといふ。

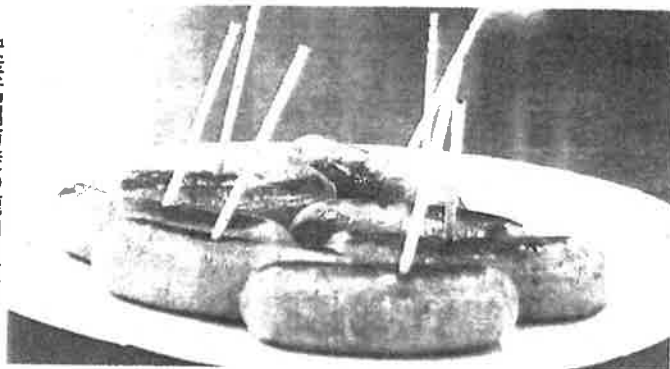
県立広島大の井上誠准教授の協
力で、県立安芸津病院の看護師に
試作品を使ってもらいながら開
発。東広島市の補助金も活用し、
医療機器として医薬品医療機器総
合機構（PMDA）に届けた。1
足3780円で広島市内の百貨店
などで販売する。

同社は県から医療機器製造販売
業の許可を受けている。新宅光男
社長は「付加価値を高めた靴下に
力を入れたい」と話している。

（新山創）

庄原市の県立広島大は安芸高田市と連携して、同市に多い鹿の肉を使ったソーセージの特産品化を進めている。鳥獣被害の原因となる鹿の肉の有効活用を図り、加工品のバラエティーを増やすのが狙い。2017年度内の商品化を目標にしている。(山成耕太)

県立広島大、安芸高田市と連携



安芸高田市産の鹿肉を用いてできたソーセージの試作品

被害原因の鳥獣 活用

地域課題を解決する同大の重点研究事業の一環。生命環境学部（食品製造工学）の研究室が16年度から取り組み、鹿肉だけを使った無添加のソーセージを目指している。市は味見などを通じて製品化をサポートする。

12日には、同大は同市吉田町のクリスタルアーシヨで、市職員たちと試作品の試食会を開いた。鹿のもも肉とばら肉を使い、無添加と食品添加物を入れた2品を食べ比べた。

同研究室によると、鹿肉は鉄分が多い一方、脂分が少なく低カロリー。ただ、ミンチにした際の凝縮性などに課題があるという。参加した市商工観光課の清水翔太郎さん（30）は「ソーセージなら鹿肉をより身近に感じられる」と商品化に期待する。

吉野准教授は「住民を悩まして鹿の肉の地産地消を後押ししたい」と話す。今後、試食会の参加者から集計したアンケートを基にさらに改良を重ねる。

鹿肉ソーセージ特産品へ

外国人客用に案内所

広島駅など 学生ボランティアも



県や広島市などは、G7外相会合に合わせ、外国人旅行者が多くなる広島空港（三原市）やJR広島駅（南区）、広島バスセンター（中区）に観光案内所を設置している。11日まで、広島市立大（安佐南区）や県立広島大（南区）などの学生ボランティアや英語が堪能な市職員らが交代で案内業務を担う。広島駅では新幹線の

改札口など、延べ約50人が「G7」と書かれたフレイトを持ち、観光客を迎えたいと写真。英語版の広島市内の地図を広げながら、外国人観光客に原爆ドームの行き方を説明していた、広島市立大国際学部2年 掛谷 暉香さん(19)は、国際交流に興味がありスタッフに応募した。広島で楽しい思い出を残す手伝いができれば」と話していた。【山田尚弘】

ホテルにオブジェ ■ 駅に案内窓口

あすから本番 歓迎準備着々

広島 外相会合

広島市での外相会合が目

前に迫り、地元の出迎え準備が進んでいる。8日には会場のグランドプリンスホテル広島（南区）に歓迎のオブジェがお目見え。JR



サクラや大鳥居の模型を使った歓迎のオブジェ (広島市南区)

同ホテル1階ロビー中央の水盤上で、ソメイヨシノとヤエザクラが咲き誇る。前方には外相らを出迎えるように、世界遺産、厳島神社（廿日市市）の大鳥居の模型（高さ約1・3メートル）が据えられている。



広島駅の案内窓口で、外国人に道案内をする学生ボランティア（手前左端）

ホテル側が7日夜から日をまたぎ、約5時間かけて制作。大鳥居の模型は廿日市市に借りた。担当者は「会合で海外から訪れる多くの人に日本の春と広島を感じてもらえるような装飾にした」と話す。早速、多くの外国人宿泊客が写真を撮る姿が見られた。会合期間を挟み1週間程度飾る。

一方、広島県や市など官民でつくる支援推進協議会は、広島駅新幹線口、広島バスセンター（中区）、広島空港（三原市）国内線ターミナル内の3カ所に案内窓口を設けた。11日まで。広島市立大安佐南区県立広島大（南区）広島女学院高（中区）のボランティアや、英語力のある市職員たち計約50人が交代で案内業務を担ったり、観光パンフレットを配ったりする。広島駅の窓口には10人ほどが詰め、外国人の道案内。市立大国際学部4年の高田陽一朗さん(21)は「廿日市市は広島に来てよかったと、気持ちよく帰ってもらえるようにしたい」と話していた。(渡辺裕明、長久豪佑)

7/13 甲園

学生の食育活動に全国表彰



料理教室に向けてレシピ開発をする代表の鈴木さん（左から2人目）たちヘルスネットのメンバー

県立広島大生 料理教室やレシピ開発

県立広島大（広島市南区）健康科学科の学生グループ「ヘルスネット」は、食育に貢献した団体や個人を対象にした農林水産省の2016年度の「食育推進ポラントニア表彰」を受賞した。学外の親子料理教室、地元食材を生かしたレシピ開発などが評価された。

ヘルスネットは12年から毎年2回程度、市内の公民館などで小学生と保護者を対象にした料理教室を開催。学生がレシピを考案し、料理の楽しさや栄養バランスの大切さを訴えている。乳幼児の親子には出前講座を開き、離乳食選びのポイントなどを解説。昨年はコンビニ大手のローソンと尾道市瀬戸田町産のレモンを使ったチーズケーキを共同開発した。

本年度は全国58団体・個人が応募し、9団体1個人が受賞した。代表の4年鈴木菜摘さん（22）は「減塩やバランスに注意し、食育に興味を持ってもらえるレシピを考えていきたい」と受賞を喜んでいった。

（井上貴博）

中国

大学生発信ネット放送

庄原メイプルラジオ

庄原に関する話題で番組を進める近藤さん(右端)や安広さん(右から2人目)、たち庄原メイプルラジオのスタッフ



庄原市内の大学生が中心となって運営するインターネット放送「庄原メイプルラジオ」が開局した。「大学生の視点で庄原の話題や情報を発信し、街の活性化に生かそう」と、同市中心部の空き家をスタジオに週1回、1時間の番組をオンエアしている。

(伊東雅之)

空き家活用 週1回1時間

同市西本町にある、木造平屋の空き家「和家」から毎週日曜午後1時、軽快な音楽に乗って若者たちのトークが始まる。メインパーソナリティーは、県立広島大生命環境学部3年の近藤裕祐さん(20)と板橋町。同じ庄原キャンパスの学生4人と番組の進行役としてマイクに向かう。

放送が始まったのは4月。「庄原で情報発信に関わるお手伝いできないか」と考えていたウエブデザイナーの安広隆行さん(43)と上原町IIが友人と借りた空き家で、大学生が中心となるネット放送を思い立った。県立大生に呼び掛けたところ、空き家問題や農業に関心を持つ近藤さんたちが応じた。

番組は、キャンパスや宿舎、庄原の街中の出来事、気づきなどのフリートークが始まる。広島市安佐北区出身で今年から自炊を始めた近藤さんは、安くおいしい食材での手作り料理や、気になる飲食店、商店を話題にする。和家の畑で実った夏野菜の紹介や、庄原の各分野で活躍する学生、社会人へのインタビュ、イベント情報など旬にこだわった番組も多い。

「手弁当での放送で至らない点も多いが、若い力と発想で庄原を活気づけてくれれば」と技術スタッフとして見守る安広さん。近藤さんは「住民との交流など学生として取り組みたい」と意気込む。

「庄原メイプルラジオ」でネット検索できる。

12/20 中国

障害者スポーツ普及へ部活

県立広島大三原 体験企画や大会支援

三原市学園町の県立広島大三原キャンパスの学生が、障害者スポーツの普及を図ろうとアダプテッドスポーツクラブを設立し、部活動に取り組んでいる。体験交流会の企画や大会のサポートを通じ、障害や年齢に関係なく誰もが一緒に楽しめる場づくりを進めている。

(山本庸平)

同クラブは昨年度、心に活動する「アフィサークル」として活動を始め、本年度、部に昇格した。理学療法や作業療法などを学ぶ同大保健福祉学部の約50人が所属する。

同キャンパス体育館で18日、手足の不自由な人たちがプレーするアンプティサッカーの体験会を開いた。部員以外の学生も含め約30人が参加。広島市を中

心に活動する「アフィサークル」の選手から、つえを突きながら片脚でボールを扱うことなどを教わった。1年山本奈美さんは「運動は苦手だけど楽しめた。選手は力強かった」と息を弾ませた。

競技後、語り合う場も設けた。アフィールの坂光徹彦代表は「一緒にプレーすることで

障害のある人の気持ちや困り事にも気付いてほしい」と期待した。

同クラブは、地元や障害者団体と卓球バレーやボッチャを楽しむ



アンプティサッカーを体験する県立広島大三原キャンパスの部員たち

交流会を企画したり、県内の競技会にボランティアスタッフとして参加したりしている。審判員資格を取得した部員もいる。副代表の2年落合秀晃さん(19)は「工夫一つで、みんなが楽しめるのが魅力。もっと広めたい」と話している。

21日付中国新聞
SELECT(セレクト)「ひと・まち・フォト」でも紹介します。

ヒロカ 職員証に導入

県立広島大 出退勤管理を効率化

県立広島大は今月末までに、広島銀行（広島市中区）が4月から展開している同行独自の地域電子マネー「HIROCA（ヒロカ）」と一体

になった職員証を導入する。カードのIC機能を使って退勤時間などのデータを管理。講義の出席確認に活用できるかどうかを見極めて今後、学生証への導入も検討する。

（山本洋子）

ヒロカは広島県内のスーパーなど約650の加盟店で利用でき、イズミやフレスタの電子マネー機能も搭載する。職員証は、広島銀のクレジット機能など付きのカード「バリユー

ワン」またはキャッシュカードの子カードとして発行。費用は広島銀が負担し、県立広島大は利用料を払う。

広島市南区、庄原市、三原市にキャンパスがある県立広島大は、約1200人の職員の出退勤を紙で管理しており、効率化のためにカード事業での広島銀との提携を決めた。正確な把握が難しかった退勤時間について、職場のタブレット端

県立広島大が職員証として導入する多機能ICカードのイメージ①と従来のヒロカカード



末に職員証をかざすと自動で時刻を記録するシステムを導入する。構内の自販機も、ヒロカの後払い式電子マネー「グイックペイ」の対応機種に順次更新する。

広島銀は社員証や学生証などと一体になったヒロカの営業を強めており、県立広島大が第1弾となる。既に県内7社がヒロ

カ搭載の社員証の導入を島銀は「ヒロカを起点に企内定。現在、約1万枚のカード発行数は来春までに20万枚に届く見通し。広業、個人顧客との接点を増やしていきたい」としている。

「ヒロカ」学生証で買い物を

広島銀・県立広島大・庄原市が連携

14/10 中国

ICカード学生証導入に係る
県立広島大学・庄原市・広島銀行 連携

連携の覚書を交わし、握手する野口常務
執行役員⑤、中村学長④、木山市長



広島銀行（広島市中区）と県立広島大、庄原市は9日、地域電子マネー「HIROCA（ヒロカ）」の活用で地元消費につなげるた

め連携する覚書を結んだ。広島銀は年明けからヒロカの機能を持つICカードの学生証を県立広島大の学生向けに発行。同大の庄原キ

ャンパスの学生に、庄原市内の商店などで買い物をしてもらう。

決済できる店は、既に市内でヒロカが使えるスーパーと家電店の4店をはじめ、書店や飲食店を加えた約10店でスタートし、順次増やす。店によっては学割なども用意する。カード会員向けの専用ウェブサイトで、市は農家の手伝いなどを募り、卒業後にヒロカを使い続ける人へふるさと納税も呼び掛ける。

庄原キャンパスには約800人が在籍。紙の学生証を年明けからICカードに順次変える。タブレット端末に学生証をかざすだけで講義の出欠などを確認できるようにする。

これまで隣の三次市で買い物をする学生が多かったという。この日、広島県庁で広島銀の野口常務執行役員たちが覚書を交わした。県立広島大の中村健一学長は「地域の人と交流を深めるきっかけになれば」。木山耕三市長は「市の宝である学生に市街地へ出てきてほしい」と話した。（川上裕）

17年1月から

ネット出願導入

県立広島大

県立広島大(広島市南区)は2017年春に入学する学生を選ぶ入試から、インターネットで出願受け付けを始めることを決めた。学部一般入試は、郵送での受け付けを廃止し、ネット

に一本化する。大学側の事務作業の効率化とともに、志願者の手間を省くのが狙い。17年1月下旬から受理する。

一般入試の志願者は、同大のホームページ(HP)の募集要項で入試内容などを確認。専用サイトに名前や志望学部、希望する受験会場を入力して出願する。調査書や志望理由書などの必要書類はこれまで通り、郵送する必要がある。

ネット出願の導入により、年間約300万円の経費が削減できる見込み。推薦入試と大学院入試については、紙の願書とネットの両方で受け付ける。同大入試担当課は「志願者も、紙の願書を手する手間が省けたり、記入漏れがなくなったりする利点がある」と説明する。

同大は、19年春に入学する学生の入試から、推薦入試の出願もネットに一本化する計画。同大によると、ネット出願は私立大の多くが導入している。

「海外で学生がテロ遭遇」
県立広島大が
危機管理訓練



訓練で学生の安否情報を確認する県立広島大の職員

海外でテロや災害が相次ぐ中、県立広島大は2日、海外渡航中の学生がテロに巻き込まれたと想定し、広島市南区の同大広島キャンパスで危機管理の訓練をした。職員約30人が参加し、

安否確認や家族への対応などの手順を確認した。

研修でロンドンを訪れていた学生4人が、武装犯による立てこもり事件に巻き込まれたとの想定でスタート。職員は情報収集や家族対応など6班に分かれ、別室の家族役、引率教員役と電話でやりとりした。筋書きは事前に知らされておらず、職員は刻々と変わる学生の安否情報の確認、家族

への説明や航空券の手配、報道機関への対応などに追われた。

同大は昨年度、留学や短期研修で学生148人を米国や英国、韓国などに派遣している。同大国際交流センターの森永力センター長は「今回の訓練でさえ、情報の確認や共有、学外への対応で混乱があった。学生を送り出す側として、備えを強化していきたい」と話していた。

訓練は、海外留学時の危機管理などを教育機関に助言するNPO法人海外留學生安全対策協議会(東京)のプログラムで、中国地方での実施は山口大(山口市)に続き2例目。同協議会の担当者による危機管理についての講義もあった。

(明知大二)